

2026年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
建築実務演習 2											
対象	4年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	升水 健太			実務 経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
建築・インテリア・構造・設備・施工管理の中で自分が希望する分野の実務の内容を実践します。											
到達目標											
建築・インテリア・構造・設備・施工管理の中から希望分野を選び、実務に近い課題に取り組むことで、業務の流れと必要なスキルを具体的に理解し、自分の進路や職種を言語化できる力を養う。											
授業方法											
ガイダンス後に希望分野ごとに少人数グループまたは個人でテーマを設定し、教員がメンターとなって実務に近い課題に取り組みせ、途中講評と中間・最終発表を通して学びを深める演習中心の授業とする。											
成績評価方法											
最終成果物・ポートフォリオ40%、中間・最終発表30%、取り組み姿勢・授業内でのプロセス20%、出席・時間管理10%を目安に総合評価し、欠席・遅刻や課題未提出が多い場合は不合格となることがある。											
履修上の注意											
プロとして働くことを想定した態度が求められるため、約束した締切を守り、指示待ちではなく自ら調べ・提案する姿勢を持つこととし、希望分野に応じてPCやソフト、作業服・安全靴などの準備を各自で行う。											
教科書教材											
特定の教科書は用いず、実務で使用される図面・仕様書・カタログ・施工計画書・CAD/BIMデータなどを教材とし、必要に応じてオンライン資料や企業の事例紹介資料を組み合わせ使用。											
回数	授業計画										
第1回	建築実務演習 2 のガイダンスとして科目の目的・評価方法・進め方を説明し、建築・インテリア・構造・設備・施工管理の各分野の特徴を確認しながら自分の希望分野と学習目標を整理する。										
第2回	各分野の実務内容を事例や動画・先輩の作品等を通して紹介し、業務フローや一日の仕事内容をイメージしながら、自分を取り組みたいテーマの候補を具体的に書き出して共有する。										
第3回	希望分野ごとに教員と相談しながら個人または小グループで扱う実務テーマを決定し、成果物のイメージ・スケジュール・必要な資料をまとめた簡単な計画書を作成して方針を固める。										

建築学科

建築実務演習 2

第4回	建築・インテリア分野ではコンセプトとラフプラン、構造・設備・施工管理分野では対象建物と検討項目の整理を行い、参考事例調査や資料収集を進めながら、テーマごとの「仕事の全体像」を言語化する。
第5回	各自のテーマに沿って図面・モデル・計画書などの一次成果物づくりを開始し、講評形式で途中成果を発表して、教員とクラスメイトからのフィードバックを受けて改善点と次回までのタスクを明確にする。
第6回	実務で用いられる図面表現・書式・チェックリスト等を参照しながら、各分野に応じた成果物の精度を高める作業を進め、図面の整理や数量の確認、工程表の書き方など基本的なスキルを身に付ける。
第7回	中間発表準備として図面・資料・模型・計画書などを一通り揃え、実務担当者になったつもりで「依頼主や上司に説明する」ことを意識したプレゼン資料づくりと説明練習を行う。
第8回	中間発表として各自または各グループが希望分野の実務テーマの進捗と成果物を発表し、質疑応答を通じて課題点と改善方針を明確にししながら、他分野の発表から仕事の違いや共通点も学ぶ。
第9回	中間発表で得た指摘を踏まえて計画や図面・資料をブラッシュアップし、足りない調査や検討を追加しながら、実務レベルで求められる丁寧さや整合性を意識した仕上げ作業に取り組む。
第10回	企業の実務事例や施工現場・設計事務所・設備会社等の仕事紹介資料を取り上げ、自分のテーマと実際の業務を比較しながら、現場で求められるコミュニケーションやチームワークの重要性を考察する。
第11回	最終成果物として提出する図面・資料・レポート・写真などを整理し、ポートフォリオとして見せられる構成を検討しながら、タイトルや説明文の書き方を学び、自分の仕事を伝える表現力を高める。
第12回	模擬実務面談として教員やクラスメイトを「上司やクライアント」に見立てたショートプレゼンと質疑を行い、限られた時間で要点を伝える話し方と、質問に的確に答える姿勢を体験的に身に付ける。
第13回	最終発表に向けて不足している資料や表現の改善に取り組み、図面・パース・工程表・計算書・コンセプトシートなど各自の分野に応じたアウトプットを仕上げ段階までまとめ上げる。
第14回	最終発表会として各自またはグループが成果物を発表し、教員からの総合講評とともに、クラス全体で他分野の仕事との違いや連携の可能性を共有し、建築・インフラにおけるチームとしての仕事を意識する。
第15回	授業全体の振り返りとして、自分の成長点と今後の課題を整理した振り返りシートを作成し、希望する職種・業種・働き方についての気付きや次年度以降の学習・就職活動への活かし方をまとめる。